

編集後記

本誌編集委員を2018年に拝命して、任期は残すところ約半年となりました。私の所属（豊橋技科大）は名古屋に比較的近く、また運よく編集委員会の開催日に他の予定が入ることが少なかったため高出席率を自負しています。それもあってか、任期後半では思いがけず副主査を務めることになりましたが、諸先生方のお力添えをいただきながら業務を進めております。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

さて、この冊子が皆様のお手元に届く頃には次年度学生の研究室配属があり、学生の入れ替えがある大学がほとんどかと思えます。学生の立場からすれば、希望の研究室に入れるか、先生や先輩との相性はどうか、など一喜一憂があり、教員側としても優秀な学生や第一希望の学生を増やすにはどうしたらよいか、もしかしたら研究よりも難解なテーマとされている先生もいらっしゃるかもしれません。幸いにしてこれまで我々の研究室では自ら望んで参加

している学生が多いのですが、全員が「研究が面白い」と思っているわけでもなさそうです。私としては、多少成績が悪くても、研究にやりがいや面白さを感じて熱心に取り組む学生を望んでいます。そうではない学生がいるということは研究の面白さが十分に伝わっていないのではと感じています。目の前のスマホに向かえばゲームやSNSなどいろいろな誘惑がある今、険しいけれどそれらに勝る魅力的な研究をしていること（少なくとも自分はそう思っている）をどう伝えていくか模索しています。ちなみに、私が学生のときはじゃんけんにも2連敗して、それまで眼中になく見学すらしなかった研究室を消去法で選びました。それが紆余曲折を経て今に至るわけですからわからないものです。あの2連敗がなければこの文章を書くこともおそろくなかったでしょう。ともあれ学生にとっても研究室にとっても将来に関わるかもしれない一大イベント、どんな結果が待っているでしょうか。（栗田弘史）

プラズマ・核融合学会 役員

会 長	森 雅博		
副 会 長	豊田浩孝（推薦委員長：学会賞，男女共同参画委員長）	竹入康彦（推薦委員長：研究助成，研究部会連絡会委員長）	
常務理事	下妻 隆（総務委員長）		
理 事	浅野史朗 荒巻光利 大野哲靖（企業展示検討委員長）	岸本泰明（年会運営委員長）	
	木戸修一（財務委員長） 小西哲之 坂本瑞樹（編集委員長）		
	齊藤輝雄 篠原孝司 神野雅文（企画委員長）		
	中井光男 長谷川晃（広報委員長，支部・地区研究連絡委員長）		
	和田 元 渡邊隆行		
監 事	利根川昭，中村圭二		

プラズマ・核融合学会 領域長

基礎 荒巻光利 応用 豊田浩孝 核融合プラズマ 大野哲靖 核融合炉工学 小西哲之

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：坂本瑞樹（筑波大） 副委員長：荒巻光利（日大）
エディタ：酒井 道（滋賀県立大），比村治彦（京都工繊大），波多野雄治（富山大），城崎知至（広島大），藤田隆明（名大），村上定義（京大）
編集委員：浅井朋彦（日大），有川安信（阪大），池添竜也（九大），諫山明彦（量研），今寺賢志（京大），岩田夏弥（阪大），宇佐見俊介（核融合研），大塚哲平（近畿大），小川大輔（中部大），乙部智仁（量研），小柳津誠（量研），桑原大介（中部大），栗田弘史（豊橋技科大），小林 真（核融合研），齊藤誠紀（山形大），齊藤晴彦（東大），清水鉄司（産総研），高橋和貴（東北大），竹田圭吾（名城大），田中宏彦（名大），辻村 亨（核融合研），時谷政行（核融合研），松下恭子（東京理科大），森田太智（九大），安原 亮（核融合研），山田大将（長野高専），吉田雅史（山口大）

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第96巻第2号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2020年（令和2年）2月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspfor.jp URL: <http://www.jspfor.jp/> 定価1,300円（税別）

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。